

(9)

各庁舎の目標

表郷庁舎

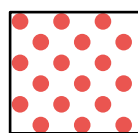
- 住民・地域団体・行政が手を取り合い、共に歩む表郷を目指します。

大信庁舎

- 暮らしも、遊びも、まるっと楽しい大信を目指します。

東庁舎

- 地域資源をいかした、東地域内外の「交流」が盛んなまちにします。



表郷庁舎

めざすまちの姿

住民・地域団体・行政が手を取り合い、共に歩む表郷を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

表郷地域は、少子高齢化や若年層の人口流出により、急速に人口減少が進み、令和4年4月に過疎指定を受けました。人口減少の影響により、産業の衰退や地域コミュニティ機能の低下などが懸念されています。

このことから、表郷地域の歴史、文化、自然、受け継がれてきた農業や特産品、交通の利便性や地理的優位性などをいかし、住民、地域団体、行政が共に課題に向き合い、共に歩みながら、地域に住む人々や子どもたちが、未来に希望が持てるまちづくりを進めていきます。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 災害に備えた体制づくりや防犯対策、医療の充実等、安全・安心に暮らし続けることができるまちづくりを進める必要があります。
- 教育や子育て環境の充実に向けた取組を行い、若い世代を地域で支え合いながら子育てを応援するまちを目指す必要があります。
- 自然や文化、歴史などの足元の資源に加え、地域の特産物等の魅力を発信し、交流人口の創出・拡大に向けた取組を進める必要があります。
- 都市機能が集約し、持続可能な地域公共交通が確保されたコンパクトで魅力ある住みやすいまちづくりを進める必要があります。
- 農業をはじめとする各種産業の担い手の確保・育成及び持続可能な経営基盤強化の取組等により、活力ある産業づくりを進める必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

安全・安心の確保

- 住民一人ひとりの防災や防犯に対する意識を高めるとともに、自助、共助の意識を持ち、町内会などの自主防災組織や消防団、行政との連携を強化する体制づくりを推進します。また、防災や防犯に必要な施設等の整備についても検討していきます。
- 住民誰もが安心して暮らしていける医療体制の充実等を図っていきます。

- 地域コミュニティについて、住民一人ひとりが支え合い、助け合いの心を持つとともに、地域で取り組むべき課題や備えるべき機能、果たすべき役割などを検討し、必要な体制の確立に向けた取組を行っています。
- 空き家対策として、空き家を活用する取組を行い、空き家が放置されない環境づくりを推進します。

教育・子育ての充実

- 子育て世代の定住、移住を促進するために、子育て世代からのニーズが多い教育環境、防犯対策、交通安全対策、医療体制等の施策を検討していきます。
- 若い人や子育て世代の声を聞きながら、子育てをみんなで支える環境づくりを進めます。

交流人口の創出

- 表郷地域の歴史・文化・豊かな自然環境などの地域資源に対し、住民自身が愛着を持ち次世代へつないでいくとともに、これらの資源を有効活用し、表郷地域の魅力を効果的に発信することで交流・観光人口の拡大を図っていきます。
- 新たな地域資源の掘り起こしや手つかずの地域資源の整備等についても検討していきます。

都市基盤の整備

- 利便性の高い暮らしやすい地域にするため、公共施設や金融機関、商業施設、医療機関などの都市機能を集約する土地利用を図ります。
- 道路等の社会インフラの維持・向上に努め、生活基盤の充実を図ります。
- 高齢化の進展に伴い、交通弱者の増加が予測されるため、公共交通の充実及び新しい公共交通システムの検討を進めるとともに、まちづくりと一体となった公共交通体系の整備を図ります。

地域経済の活性化

- 交通の利便性や地理的優位性をいかした企業誘致や多様な産業が持続的に発展するよう、産業基盤の強化や産業を支える人材の育成等に努めます。
- 歴史・文化・自然などの地域資源をいかし、表郷地域の魅力発信や交流・観光人口の拡大を図ります。

関連する計画

- 白河市過疎地域持続的発展計画
- 表郷地域振興計画

大信庁舎

めざすまちの姿

暮らしも、遊びも、まるっと楽しい大信を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

高齢化が進む一方で、出生数の減少、若年層の流出など、将来の地域を支える若者の人口減少が進んでいます。

このことから、大信地域のすべての世代の暮らしやすさを高めるとともに、雄大な自然、キャンプ場やゴルフ場など地域固有の資源を十分にいかしながら、住んでいて楽しい、愛着と誇りに満ちた一人ひとりが主役の地域づくりを推進したいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 大信地域は、山林・農地が面積の8割超を占めます。この自然豊かな地域でのゆったりとした暮らしや農業の体験などを通し、地域の魅力を発信していく必要があります。
- キャンプ場やゴルフ場といったアクティビティ施設を県内外に広くPRし、交流人口の増加を推進していく必要があります。
- 暮らしやすさを高めるため、道路・水路整備、除雪や子育て支援など生活に密着した対策を推進するほか、高齢者等の移動手段を確保する必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

大信ならではの若者・女性の定住促進

- 地方移住に関心を寄せている人を対象に、首都圏との近接性や、豊かな自然環境での暮らしを体験してもらうため、地域の空き家を活用して、暮らし体験住宅を整備し、「転職なき移住」を推進します。
- 空き家バンクの対象を住宅専用から、事業拠点、農業拠点としての活用も可能となるよう拡大し、利用を促進していきます。
- 農業の担い手不足が見込まれることから、大信地域への就農希望者の呼び込みや経営継承の推進、農業に関する交流人口の増加に取り組み、地域農業の持続と新たな担い手による発展に向けて支援していきます。

地域資源のフル活用

- 地域内各所に大信の主要拠点を示すサイン表示を設置し、円滑に人の流れを誘導するなど、

来訪者の期待感を高めるための取組みを進めていきます。

- 仕事と休暇の両方の充実を目指し、ゴルフ場においてWi-Fi環境や会議スペースの整備を進め、ゴルフアーケーション^{※1}を推進していきます。
- 小中学生向けのゴルフ体験事業や、ゴルフ場がクローズとなる期間を活用した冬を楽しむアクティビティの実施を検討し、交流人口の増加、地域活性化への取組みを進めていきます。
- オーナー制や農家民泊を実施しようとする生産者を支援するなどし、都市住民との交流を進めていきます。
- 観光施設へ通ずる路線で、道路の狭さや運転のしづらさが課題となっている場所の道路拡幅、対向車接近警告表示灯の設置及び蓋なし側溝の蓋掛け等を、県に対し継続的に要望していきます。
- 豊かな自然を活用した家族連れで賑わう親しまれる公園整備に向け、基本構想を策定していきます。
- 遊休校舎について、民間による産業的施設、地域の集いの場の施設など、新たな地域活性化の拠点となるよう、周辺環境のメリットもいかながら、利活用法の検討を進めていきます。

豊かさを実感できるふるさとづくり

- 山間部における火事や水害などへ迅速に対応するため、確実な連絡手段であるデジタル系のトランシーバーを消防車両に配備し、安心して生活できるよう支援していきます。
- 過去に整備された身近な公園や憩いの場などについて、地域住民と協働しながら日頃のメンテナンスの質を向上させ、常に人が心地よく集まり、つながれる空間を維持していきます。
- 豪雨時の災害を未然に防止するため、頻繁に水路があふれる箇所の流末排水について流路工を整備していきます。
- 小規模需要に対応した新たな交通システムの導入や、共助による交通の仕組みづくりなど先進例や先端技術を研究しながら、大信地域に最適な移動手段を確保していきます。
- 積雪が多い特徴を踏まえ、主要道路に夜間でも認識可能な降雪監視カメラを設置するなど、積雪状況の常時把握、機動的な除雪指示ができる環境を整備していきます。
- 路面凍結箇所へ融雪剤自動散布機を設置するほか、町内会が除雪機を購入する際に一部補助を行うなど、降雪による障害を排除し、暮らしやすさを高めるための取組みを進めていきます。
- 老朽化した公園を、再び気軽に遊び、憩える場にするため、繁茂した草木の撤去や遊具の更新を行っていきます。

関連する計画

- 白河市過疎地域持続的発展計画
- 大信地域振興計画

用語解説

※1 ゴルフアーケーション：ゴルフ場に宿泊してテレワークを行い、就業時間の前後や休憩時間を利用してゴルフを楽しむワーケーション^{※2}のこと。

※2 ワーケーション：「ワーク（Work）＝仕事」と「バケーション（Vacation）＝休暇」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地など、普段のオフィスとは離れた場所で休暇を楽しみながら働くスタイルのこと。

東庁舎

めざすまちの姿

地域資源をいかした、東地域内外の「交流」が盛んなまちにします。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

全国的に人口減少や少子高齢化が進んでおり、本市においては急速に人口減少が進んだことにより、表郷・大信地域が過疎地域の指定を受けました。東地域は指定こそ受けませんでしたが、今後、同じ状況になることは必至と考えられます。

このことから、東地域では、過疎にならないような策を講じていく必要があります。東地域は、きつねうち温泉や文化センター、キャンプ場、様々なスポーツ施設を集約している東風の台運動公園をはじめ、歴史や文化、自然など豊かな地域資源を有しており、農業や商工業も盛んです。

今後は、このような資源をいかし、東風の台運動公園エリアを中心に、「交流」を一つのキーワードとして、この地に関わる「人」や「もの」の交流を深め、内外に発信することで、一人でも多くの人に来てみたい、住んでみたい、住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- きつねうち温泉・東風の台運動公園エリアや地域産業である農業等、地域の「もの」の特色をいかし、地域外の人から来てみたいと思われる取組みが必要となります。
- 地域の「人」の交流促進による地域コミュニティの強化を図り、地域に住み続けたいと思えるよう、子どもたちや若者の地域への愛着を醸成していくことが重要となります。
- 誰もが暮らしやすい環境を整備するため、交通システムの整備を図るとともに、子どもから大人まで、安心して、いつまでも生き生きと生活できるような支援が必要となります。
- 東地域の魅力をPRするための、情報発信力を高めていくことが重要となります。

◆ 課題を解決するための取組み

暮らしの充実

- 予約型乗合タクシー等を活用した新たな交通システムを整備するなど、移動手段（交通）の充実を図っていきます。

- 空き家が増加していることから、その利活用を地域と行政とが連携して考えていきます。
- 危険箇所における早めの対応を心掛け、誰もが安全に暮らせる環境を整備します。
- 利用されていない公園等の整理を行い、環境・景観の整備に努めます。

子育て・福祉の充実

- 安心して子育てができるよう、相談・支援の場等の整備を行っていきます。
- 子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるよう医療機関の確保に努め、地域医療サービスの充実を図っていきます。
- 高齢者が生き生きと健康に暮らせるよう、サロンの充実や活躍できる場の確保に努めます。

コミュニティの維持・強化

- 若者にコミュニティへの参加を促し、人と人との結びつきによる、地域コミュニティの維持を図っていきます。
- デジタルにはない、「人」と「もの」との関わりや交流する機会を創出することで、若い人に戻ってきてもらえるよう子ども達の地域への誇りや愛着心を醸成します。
- 消防団員の確保をはじめ、災害時などにおける共助体制づくりなど、地域の共通認識を深め、助け合える地域づくり（コミュニティづくり）を進めます。

賑わい創出・産業振興

- きつねうち温泉を中心に、キャンプ場やスポーツ施設など、周辺エリアの充実を図るとともに、PRの仕方を工夫するなど情報発信力を高め、東地域の魅力を伝えていきます。
- 地方移住に関心のある人に対し、お試し居住での田舎暮らしや農業体験等、魅力のある機会を創出していきます。
- 賑わい創出イベント等を定期的に開催することで、地域の活性化につなげていきます。
- 誰もが分かりやすく、立ち寄りやすくするために、各所旧跡や施設等の案内を表示し、地域や商店の特色を一体的に創出することで、魅力的な街並みを整備していきます。
- 事業主の高齢化に伴い後継者不足が懸念されることから、事業後継者の育成や確保に努めていきます。

関連する計画

- 東地域振興計画